

大麦の生育は順調であり、生育の早いほ場での出穂期は4月10日頃と見込まれ、平年よりやや早い生育となっています。

今後は水稲作付ほ場からの漏水に注意するとともに、ほ場内に水が停滞しないよう、排水溝の手直しを行い、深く掘り下げた排水口への連結を徹底しましょう。

1. 排水溝の手直し

隣接する水稲のほ場に、間もなく入水が始まることから、畦畔などからの漏水がないか、必ず確認しましょう。

また、排水溝や排水口に水が溜まらないよう、排水溝の手直しと排水口への連結を徹底しましょう。

排水溝を手直しし、水が流れるようにしましょう。



2. 止葉展開期の追肥

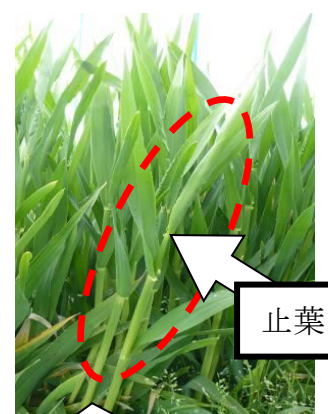
【基肥一発肥料の場合】

基肥一発肥料（エコ大麦48号）を施用したほ場では、追肥を施用しないでください。

【分施体系の場合】

硝子粒発生防止のため、施用時期と施肥量に注意しましょう。

は種時期	施肥時期	肥料名	施肥量 (10a当たり)
9月~10月上旬	3月30日頃	硫安	10kg
10月中旬以降	4月3日頃		



止葉が出葉した茎が、ほ場の40~50%となった時期

赤かび病の防除については、次号の特報でお知らせします